

# 製品安全データシート

整理番号 QB-8008-01

## 1. 製品及び会社情報

製品名: MKブリッジテープ(ガラス長繊維製品)

製造元: 会社名 メーコー株式会社

住所: 〒189-0003 東京都東村山市久米川町 5-33-11

担当部門: 技術部 担当者: 三浦利之 電話: 042-393-2345 FAX: 042-395-3253

緊急連絡先: 田中正好 電話: 0429-42-0095 作成者: 三浦利之 作成改定日: 2014年2月13日

## 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 表面処理剤を含む単一製品

化学名	一般名	含有量 Wt. %	CAS番号
アルミナ硼けい酸ガラス	E-ガラス	> 70 %	65997-17-3

(16. その他の情報、注1) 注2) 参照)

アクリル酸エステル共重合体コイタルリカ	}	< 10 %
アクリル酸エステル共重合体		< 20 %

危険有害性の原因となる成分: 情報なし

ガラスは化審法における官報公示整理番号及びP R T R法・安衛法における政令番号に該当する化学物質がありません。従って、日本国内関係法において「化学物質」に該当しません。

## 3. 危険有害性の要約

ガラス繊維は、静電気を帯びやすい性質があります。例えば、ロービングやクロスガラス繊維製品をガイドやゴムロール等に通して運転する作業では、静電気が起こります。静電気のアークが火種になる場合があります。また、作業者が静電気に触れて驚き二次災害を起こすことも考えられます。必ずアースを取るとか、静電除去装置を取付けるなどの対策を行って下さい。

人の健康に対する有害な影響: ガラス繊維製品や作業中に飛散したガラス繊維に触れると皮膚、目、喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こすことがあります。

## 4. 応急措置

吸入した場合: 清浄な水で10回位うがいをして下さい。また、軽く鼻をかんで下さい。もし、鼻や喉にかゆみや痛みなどの異常が残るようであれば医師の診断を受けて下さい。

皮膚に付着した場合: 絶対にこすらないで下さい。(皮膚に刺さった場合には、毛抜きで刺さったガラス繊維を折らないよう注意して抜いて下さい。) 最初、流水で洗い、次いで温水で石鹸で洗って下さい。入浴はガラス繊維を除去するのに効果があります。

目に入った場合: 清浄な水で最低15分間、流し洗いをして下さい。もし、痛みが残るようであれば医師の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合: 吐き出させ水で良く口を洗って下さい。もし、吐き出せないなど異常があれば医師の診断を受けて下さい。

## 5. 火災時の措置

消火剤: ガラス繊維自体は水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、粉末のいずれも有効です。但し、まわりの状況(発火原因など)によって適切な消火剤を選定して下さい。

消火方法: 通常の消火方法を取って下さい。

その他の情報: ガラス繊維自体は不燃性ですが繊維上に加工した集束剤や表面処理剤は一般に可燃性です。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項: 必要に応じて、保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

環境に対する注意事項：特になし

除去方法：床面などにこぼれた場合は、速やかに粉じんが飛散しないよう静かに清掃し空容器や袋等に詰めて一般的な産業廃棄物と同様の扱いとする。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：吸い込んだり、眼、皮膚に出来る限り触れないようにする。必要に応じ手袋、保護眼鏡（ゴーグルタイプが望ましい）、防じんマスク（国家検定品：取替え式・使い捨て式）をお使い下さい。

保管：製品は、直射日光が当たらず、高温多湿とならない屋内に保管して下さい。

保管条件が不適切な場合には、ガラス長繊維製品の集束剤や表面処理剤等の加工剤に変質を生じ、所定の性能が得られなくなる場合があります。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：粉じんを発生する切断・研磨等の作業、ミルドファイバー等の粉体状の製品の取り扱い作業などを行う場所には、局所排気装置を設置して下さい。（設置が困難な場所でこれらの作業を行う場合には、防じんマスク（国家検定品）を着用して下さい）。また、洗顔・洗身・うがい・更衣・洗濯設備等の設置も望ましい。

管理濃度：ガラス長繊維製品は鉱物に該当し、粉じん則の規定に該当する作業場の場合は、遊離けい酸が0%であるから、吸入性粉じん管理濃度は、 $3.0 \text{ mg/m}^3$ となる。

$$E = 3.0 / (0.59Q + 1) \quad (E: \text{管理濃度}, Q: \text{粉じん中の遊離けい酸含有率}(\%))$$

許容濃度：ガラス繊維粉じんは第3種の粉じんに該当し許容濃度を次のように定めています。

- ・吸入性粉じん  $2 \text{ mg/m}^3$ （勧告値）日本産業衛生学会（2004-2005年度版）
- ・総粉じん  $8 \text{ mg/m}^3$ （勧告値）日本産業衛生学会（2004-2005年度版）
- ・TLV-TWA  $3 \text{ mg/m}^3$  ACGIH（'2002年度版）

保護具：作業環境を考慮して、必要に応じて、次の保護具をお使い下さい。

呼吸用保護具：防じんマスク（国家検定品：取替え式・使い捨て式）

保護眼鏡：保護眼鏡（ゴーグルタイプ）

保護手袋：皮手袋等ガラス繊維を通しにくいもの

保護衣：上衣：襟付き長袖（手首の締まった）ゆつたりしたもの

下衣：長ズボン（足首の締まったもの）

## 9. 物理的及び化学的性質

外観：白色のガラス繊維集合体

融点(°C)：(軟化点)約840

臭気：無臭

密度(25°C)：約2.5(塊状)

pH：特性なし

溶解性(水)：ほとんど溶けない。

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性：化学的に安定で反応性はなし。

危険有害な分解生成物：ガラス繊維自体は不燃性ですが、繊維上に加工した、集束剤や表面処理剤は、一般に可燃性で燃焼時の分解生成物として炭酸ガス、水の発生が予想されます。

## 11. 有害性情報

刺激性(皮膚、眼)：直接接触時に、物理的刺激があるが毒性はない。

急性毒性(50%致死量などを含む)：現在のところ有用な情報なし

亜急性毒性：現在のところ有用な情報なし

がん原性：国際ガン研究機関(IARC)では、区分3(人に対する発ガン性について分類されない。)とされている。

## 12. 環境影響情報

環境影響に関する情報はなし。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄の方法は一般的な産業廃棄物と同様に取り扱う。

その他関係法令の定めるところに従う。

## 14. 輸送上の注意

輸送上の注意は特になし。但し、品質上容器等が破損しないように水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。

## 15. 適用法令

危険有害性分類基準の対象法令に該当しない。関係法令等には次のものがある。

\* 粉じん障害防止規則別表1の第6号の鉱物（ガラス繊維）を裁断等をする場所において作業を行う場合には、労働安全衛生法施行令の規定に定められた「粉じん障害防止規則」が適用される。

\* 労働省労働基準局長 基発第一号 平成5年1月1日  
「ガラス繊維及びロックウールの労働衛生に関する指針」

\* 労働省労働基準局長 基発第162号 平成12年3月24日  
「労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律の施行について」

\* 厚生労働省労働基準局長 基発第0215002号 平成17年2月15日  
「特定化学物質等障害予防規則等の一部改正について」  
労働安全衛生法第57条の2第1項の政令で定めるものとして同法施行令別表第9第313に「人造鉱物繊維」が掲げられているが、この通達により「ガラス長繊維」はMSDSの対象外とされている。

## 16. その他の情報

注1) 主として 2. 組成、成分情報に示す物質から構成される安定した無アルカリガラスであり、遊離けい酸はなし。

注2) 化学物質管理促進法(PRT法)施行令別表第1の第1種指定化学物質として「ホウ素」があげられており、ガラス長繊維は、「ホウ素」として1%以上を含有した「ガラス製品」ですが、PRT法には以下の理由で該当致しません。

①「ガラス」は化学物質の名称ではありませんので、PRT法の対象物質とはなりません。

②通常のご使用の範囲であれば、PRT法の届出の対象にはなりません。

但し、お取り扱いの過程で、熔融、蒸発又は溶解等を伴う工程においては、当該化学物質の排出量、移動量の届出が必要となりますので、ご注意をお願い致します。

### 1) 参考文献

\* 「許容濃度の勧告」(2004~2005)

産業衛生学会誌 46巻 335、2004

\* 「Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans Vol.81(2002), "Man-made Vitreous Fibers" )

International Agency for Research on Cancer(IARC:国際ガン研究機関)

### 2) 主要国の既存化学物質の登録状況

\* 欧州商業用既存化学物質台帳(EINECS)

EINECS番号 266-046-0

CAS番号 65997-17-3

登録名称 Glass, oxide, chemicals

\* 米国有害物質規制法(TSCA)化学物質台帳

CAS番号 65997-17-3

登録名称 Glass, oxide, chemicals

\* 中国現有化学物質名録

CAS番号 65997-17-3

登録名称 Glass, oxide, chemicals

3) 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手続きを対象としたものであって特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。